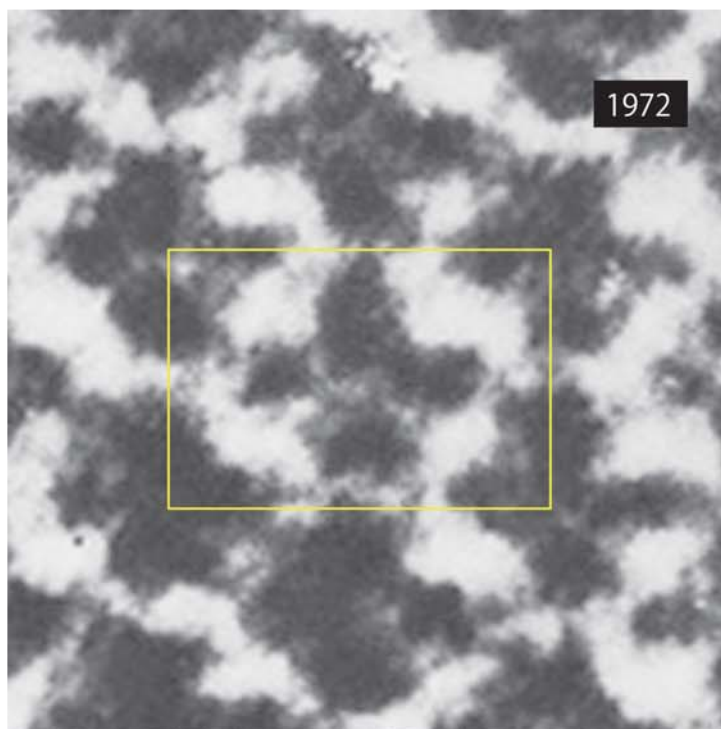
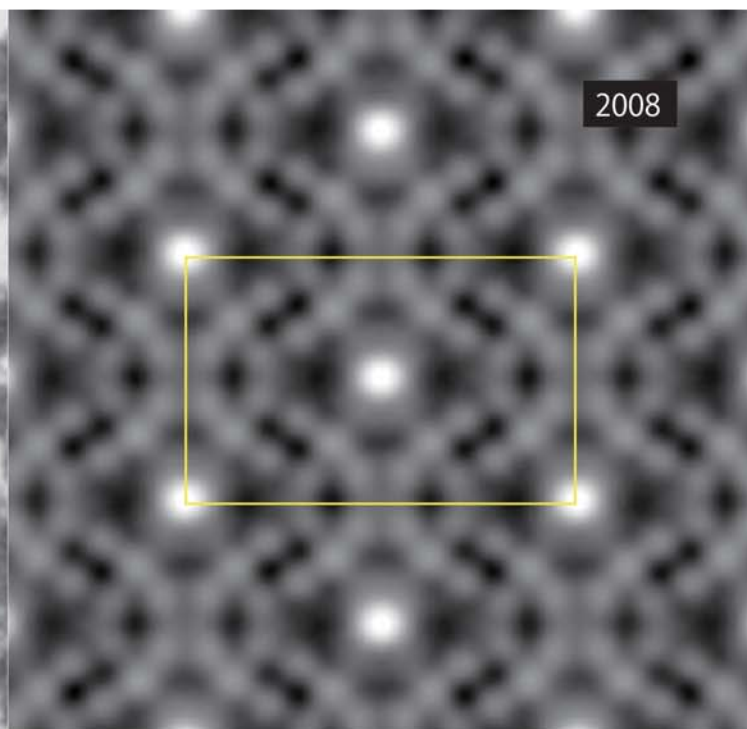
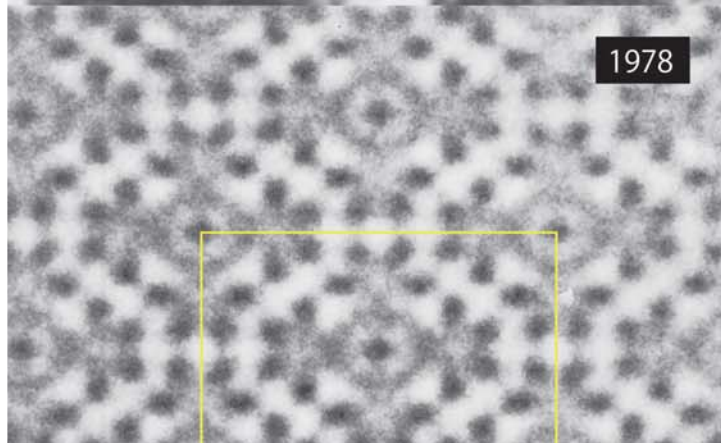




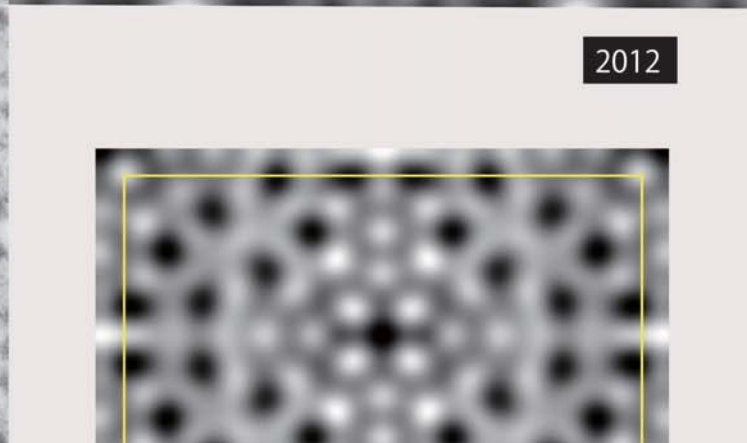
1972



2008



1978



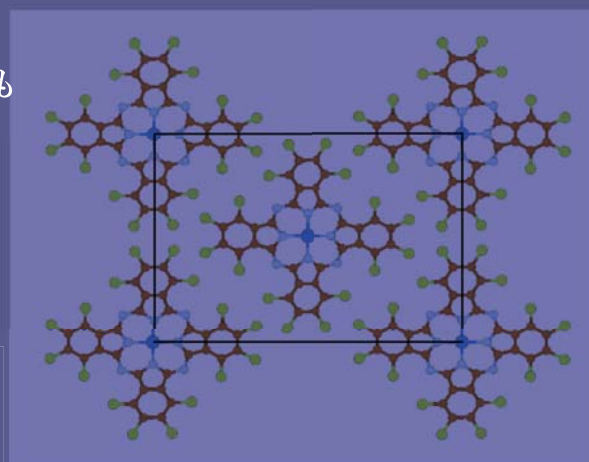
2012

枠を超えた、知の冒険

国立大学の研究所・センターは、
理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。
最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2018

国立大学附置研究所・センター会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧



Message 平成30年度会長挨拶

平成30年度の「国立大学附置研究所・センター長会議」の会長を務めることになりました、京都大学経済研究所の溝端佐登史です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、60年余りの歴史を持つ「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を承継し、国立大学が法人化された平成16年度に発足しました。平成30年4月現在、全国の国立大学法人に設置された99(30大学)の附置研究所と研究センターで構成されています。なお、本会議は本年から「国立大学附置研究所・センター会議」に改称されます。

附置研究所・センターは、幅広い学問分野を網羅して、世界的に学術研究をリードすべく、先端的な研究課題、多様な学際研究、長期的な視野にたつ基礎研究などに取り組んでいます。また、その多くは共同利用・共同研究拠点として、内外の研究者コミュニティに開かれた体制を整備し、さまざまな研究基盤ならびに共同研究の機会を提供することで、大学の枠を超えて学術研究を支えています。さらに、先端研究の場を学生・若手研究者に開放し、次世代研究者の育成にも積極的に貢献しています。

本会議はこれまで学術研究の発展に向けた提言や要望を適時発信して参りました。ユニークな研究活動をウェブサイトで紹介するとともに、シンポジウムを開催するなど情報発信にも力を入れています。「研究の見える化」により、附置研究所・センターが担う学問分野における最先端の研究動向を広く、一般の皆様や学生の皆さんに知っていただきたいと考えております。

今後も、附置研究所・センターは、わが国の学術研究の中核としての役割を果たし、学術研究の一層の発展に貢献したいと考えております。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年度会長
京都大学 経済研究所

溝端 佐登史 所長

第一部会の活動

Science and Technology

1

① 粘菌がつくる関東圏の交通網

アメーバ様生物である粘菌の変形体(黄色)は、関東圏の主な町の分布に合わせて配置した餌場所を管ネットワークで連結しました。このネットワークの形は、現実の鉄道網の形と似ていました。どちらも、流量(粘菌は物質流、鉄道網は交通流)が多いと発達するという同様の発展規則で成り立つことが数理モデル化によって解明されました。単細胞粘菌と人間社会の思わぬ類似性が見つかりました。(北海道大学 電子科学研究所)

② 災害科学の深化・実践的防災学の構築

東日本大震災を受けて2012年に発足しました。文・理双方の研究者が学際的に災害科学の深化に取り組み、

実践的防災学の構築にあたっています。東日本大震災の被害把握・巨大地震・津波メカニズムの解明等に取り組むつ、国内外で産・官・学・民連携に力を入れ、東北被災地の復興とともに世界の災害軽減を目指しています。(東北大学 災害科学国際研究所)

③ 室温で強磁性・強誘電性が共存した物質を実現

室温で強磁性と強誘電性が共存するセラミックス材料を開発しました。薄膜試料に電場を印加して電気分極の方向を切り替えることで、面外方向の磁化を反転させる事ができます。超低消費電力の磁気メモリへの応用が期待されます。(東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所)

④ 反応科学超高压走査透過電子顕微鏡

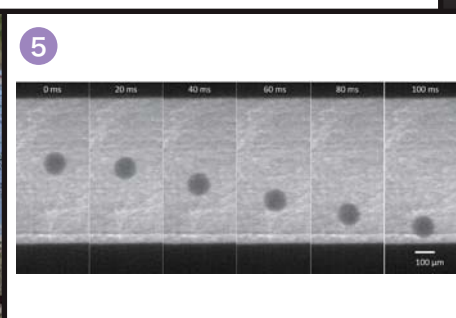
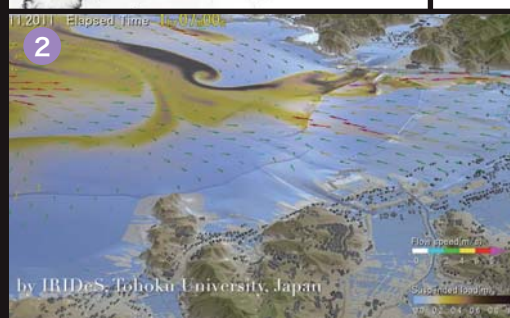
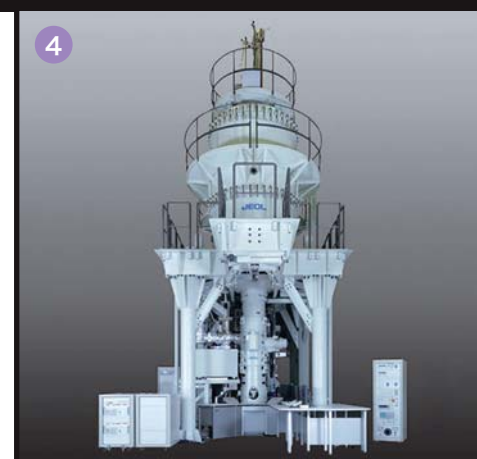
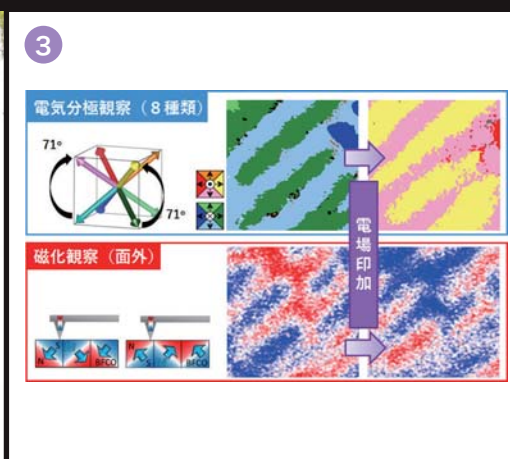
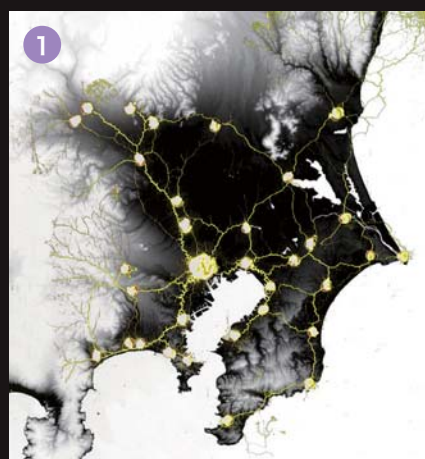
世界で唯一の反応ガス環境下での材料観察・分析が可能な超高压電子顕微鏡(最高加速電圧1000kV)。通常の電子顕微鏡では透過観察できない厚い試料の観察、トモグラフィによる三次元観察、電子エネルギー損失分光による化学状態マッピングも可能である。平成29年度には四重極質量分析器が搭載され、ガス反応の原子レベル観察と同時に化学反応による生成ガスの検知・同定も可能となった。(名古屋大学 未来・材料システム研究所)

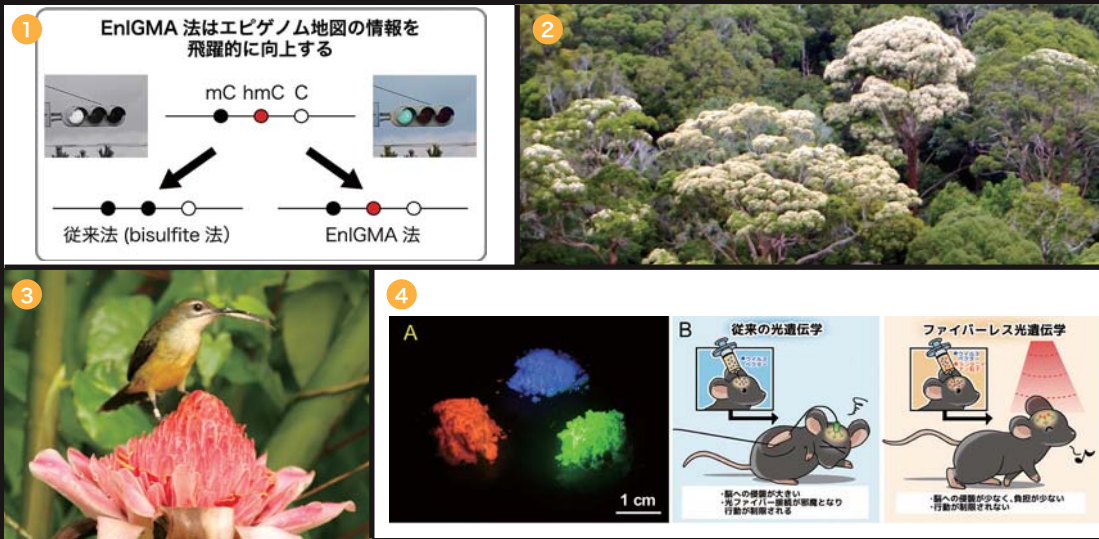
⑤ マグマオーシャン深部条件での粘性率測定

マグマオーシャン深部の圧力条件(~28GPa)でケイ酸塩メルトの粘性率測定に成功した。新規開発した半導体ダイヤモンドヒーターによる成果である。半導体ダイヤモンドヒーターは、X線透過性に優れており、鮮明なX線画像を得ることができる。また、グラファイトがダイヤモンド化する高压条件下で従来より超高温発生(~4000K)が可能であるため、下部マントル条件における様々な物質科学研究に役立つ。写真はメルト中を金属球が落下する様子をX線で撮影したものである。金属球の落下速度から粘性率が求まる。(岡山大学 惑星物質研究所)

⑥ 海洋温度差発電の実海域実証試験

佐賀大学で継続してきた研究成果を基に、世界に先駆けて、海水の温度差を利用した海洋温度差発電の実証試験(発電機100kW)を、沖縄県久米島において、2013年に開始し、現在まで継続して発電を行っている。また、水素製造および海水淡水化などの複合利用に関する実証研究も併せて行っている。実験開始以来、海外60数か国からの視察がある。(佐賀大学 海洋エネルギー研究センター)





①新規シトシン修飾解析法の開発

エピゲノム修飾の中で重要なDNAのシトシン修飾の新しい解析法を開発しました。これによりこれまでではメチルシトシンとヒドロキシメチルシトシン、非修飾のシトシンを個別にしか解析できなかったものが、同時に同一分子上で1塩基解像度での解析が可能となったことから、エピゲノム解析に飛躍的な向上が期待されます。(東京医科歯科大学 難治疾患研究所)

②フタバガキ林の斉開花

日本の木材の供給源ともなっている東南アジア熱帯林のフタバガキ林では、数年に一度さまざまな種が同調して

開花します。斉開花と呼ばれるこの現象を理解することは、人間活動により危機に瀕する熱帯林の保全にも重要です。(京都大学 生態学研究センター)

③ショウガ科の送粉者 (ボルネオ)

風によって花粉媒介される植物の多い温帯とは異なり、熱帯林ではほぼすべての植物で動物が花粉を運びます(送粉)。さまざまな生物が、生態系の中でどのような相互作用ネットワークを持つのか、それがどのように形成されてきたのか研究しています。(京都大学 生態学研究センター)

④ランタニドマイクロ粒子を用いたファイバーレス光遺伝学

マウス脳内にランタニド粒子を注入し、生体透過性の高い近赤外光を照射することでアップコンバージョン反応によって、可視光を発光させる(A)。可視光にて活性化されるイオンチャネルを開くことで、特定神経の活動操作が可能になる。従来の光遺伝学と比較して、光ファイバーによる侵襲や、行動制限がないなどの利点があり(B)、本法を用いて本能行動を調節する神経回路の動作原理について明らかにする研究を行っている。(名古屋大学 環境医学研究所)

休館

第三部会の活動
Humanities and
Social Science

3



①ボーダーツーリズム研究

社会貢献・社会連携の一環として、ボーダーツーリズム(国境観光)の研究を推進しています。境界自治体や、学術機関で構成される境界地域研究ネットワークJAPAN(JIBSN)、NPO法人、旅行社、メディアなどとの連携も強めていて、観光業が中心となる「ボーダーツーリズム推進協議会」の立ち上げにも貢献しました。(北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター)

②被災した無形民俗文化財調査成果データベース

これは、2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災した宮城県沿岸部における無形民俗文化財を対象とした震災前と震災後の記録を収録したものです。調査事業は、宮城県からの委託を受けて2011年11月~2013年2月にかけて行われました。コンテンツは地域住民からの聞き書き資料、写真や図版資料などから構成されてい

ます。この事業に端を発して、文理が共同する様々な災害対応調査研究が行われています。(東北大学 東北アジア研究センター)

③聖典クルアーンの筆写 (セネガル)

今日、人類の7割以上が暮らすアジア・アフリカの多様な言語と文化を解明するには、臨地調査に基づく共同研究が欠かせません。西アフリカであれば各地の民族語や特有の文化・歴史に加え、イスラームを知る必要がありますが、当研究所では言語学・文化人類学・歴史学・中東イスラームなどの専門家が結集して研究に取り組んでいます。(東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所)





平成30年度 第一部会長
筑波大学 計算科学研究センター
梅村 雅之 センター長

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圏、水・物質循環、雪氷、宇宙物質、生物環境、環オホーツク
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
複合領域ナノサイエンス
<http://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 7 北海道大学 北極域研究センター (○)
北極域、大気圏・水圏、陸域、雪氷圏、環境工学、人文社会科学、衛星観測・モデリング
<http://www.arc.hokudai.ac.jp/>
- 9 東北大 金属材料研究所 (○)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価、エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 11 東北大 流体科学研究所 (○)
流体、流動、環境・エネルギー、人・物質マルチスケールモビリティ、健康・福祉・医療、エアロスペース、ナノ・マイクロ、融合研究
<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大 電気通信研究所 (○)
情報デバイス、ブロードバンド通信、人間情報システム、ソフトウェア工学、ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、ブレインウェア
<http://www.riec.tohoku.ac.jp/ja/>
- 13 東北大 多元物質科学研究所
多元物質科学、有機・無機ハイブリッド材料、プロセスシステム・デバイス工学、先端計測技術開発、ネットワーク型共同研究拠点
<http://www2.tagen.tohoku.ac.jp/>
- 14 東北大 災害科学国際研究所 (○)
災害科学、復旧・復興、地震、津波、自然災害、災害医学、レジリエンス
<http://irides.tohoku.ac.jp/index.html>
- 16 東北大 電子光理学研究センター (○)
原子核物理、ハドロン物理、不安定核科学、放射化学、ビーム物理学、高エネルギー電子加速器、電子光ビーム
<http://www.lns.tohoku.ac.jp/>
- 17 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 22 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、気候変動、モデル統合
<http://www.cr.chiba-u.jp/>
- 24 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山、津波、地球内部構造、地球内部ダイナミクス、自然災害、観測固体地球科学
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 27 東京大学 生産技術研究所
生産技術全般、産学連携研究、国際連携研究、基礎系、機械・生体系、情報・エレクトロニクス系、物質・環境系、人間・社会系
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 30 東京大学 宇宙線研究所 (○)
宇宙線、ニュートリノ、重力波
<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 31 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、新物質、ナノサイエンス、量子ビーム、強磁場、光科学、計算物質科学
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 先端科学技術研究センター (○)
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 34 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、超対称性理論、統一理論
<http://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 35 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
GIS、時空間解析、時空間センシング、空間データ基盤
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index.html>
- 36 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 (○)
バイオマテリアル、医療デバイス・システム、生体機能分子、生体医歯工学
<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>
- 39 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 (○)
グリーンケミストリー、機能性分子、バイオマス資源、省エネルギー、超分子、生体分子、医用工学
<http://www.res.titech.ac.jp/index.html>
- 40 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 (○)
知能化工学、情報イノベーション、電子機能システム、創形科学、量子ナノエレクトロニクス、フォトニクス集積システム、先進メカノデバイス、融合メカノシステム、先端材料、都市防災、異種機能集積、生体医歯工学
<http://www.first.iir.titech.ac.jp/index.html>
- 41 東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所 (○)
セラミックス、機能性酸化物、先端材料、建築構造・材料、耐震・制振
<http://www.msl.titech.ac.jp/index.html>
- 42 東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所
原子力エネルギー、量子・粒子線科学、革新的原子力システム、原子力安全・セキュリティ、核燃料サイクル、使用済み核燃料および放射性廃棄物処理・処分、同位体科学、原子力材料、放射線医療応用・生物影響
<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/jp/index.html>
- 45 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水災害、複合連動災害、減災対策、復興、危機管理
<http://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 48 金沢大学 環日本海域環境研究センター (○)
越境汚染、国際共同研究拠点、統合環境研究、有害化学物質、大気観測スーパーサイト、低レベル放射能計測
<http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>
- 49 静岡大学 電子工学研究所
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<http://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 50 静岡大学 グリーン科学技術研究所 (○)
グリーンエネルギー創成、最適化エネルギーネットワーク、環境ストレスマネジメント、ゲノム科学、機能性分子の発見・設計・創成、ナノバイオ科学
<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>
- 52 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的省エネルギー技術、高度計測技術、次世代半導体材料・デバイス、持続可能な社会のためのシステム技術
<http://www.imass.nagoya-u.ac.jp>

53 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (○)
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、
気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>

56 京都大学 化学研究所 (○)
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、
ビーム科学、および学際プラットフォーム
<http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>

57 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)
ゼロエミッションエネルギー、
プラズマ・量子エネルギー応用、
高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、
ソフトエネルギー創発科学
<http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/>

58 京都大学 生存圏研究所 (○)
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、
太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、
循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>

59 京都大学 防災研究所 (○)
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、
火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

60 京都大学 基礎物理学研究所 (○)
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論
<http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>

62 京都大学 数理解析研究所 (○)
数学、数理科学
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>

63 京都大学 複合原子力科学研究所 (○)
研究用原子炉、加速器、核エネルギー利用、放射線利用、
複合原子力科学
<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>

72 大阪大学 産業科学研究所 (○)
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、
生体科学、分子科学、ナノテクノロジー
<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>

75 大阪大学 接合科学研究所 (○)
溶接・接合技術、国際研究連携、ものづくり基盤技術、
産学共創事業、共同利用・共同研究
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>

76 大阪大学 レーザー科学研究所 (○)
レーザー科学、プラズマ科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学
<http://www.ile.osaka-u.ac.jp/jp/index.html>

77 大阪大学 核物理研究センター (○)
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学
<https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>

81 岡山大学 惑星物質研究所 (○)
惑星科学、惑星深部、高温高圧実験、鉱物・マグマ・流体物性、
主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー
<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>

82 岡山大学 異分野基礎科学研究所
数理科学、量子宇宙、光合成、構造生物学、錯体化学、超伝導、
有機エレクトロニクス材料、理論科学
<http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>

84 広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 (○)
ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学
<http://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/modx/index.html>

85 広島大学 放射光科学研究センター (○)
放射光、超伝導、スピン、物性・生命異分野融合、
高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/>

88 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)
超高压実験、第一原理計算、地球ダイナミクス、鉱物物性、
相転移、地球深部、マントル、核、レオロジー、地球深部水、
スーパーアース、惑星科学、ダイヤモンド、新物質合成
<http://www.grc.ehime-u.ac.jp/>

89 高知大学 海洋コア総合研究センター (○)
国際深海科学掘削計画(IODP)、地球掘削科学、
地球環境システム変動、海底資源学、海洋天然物化学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>

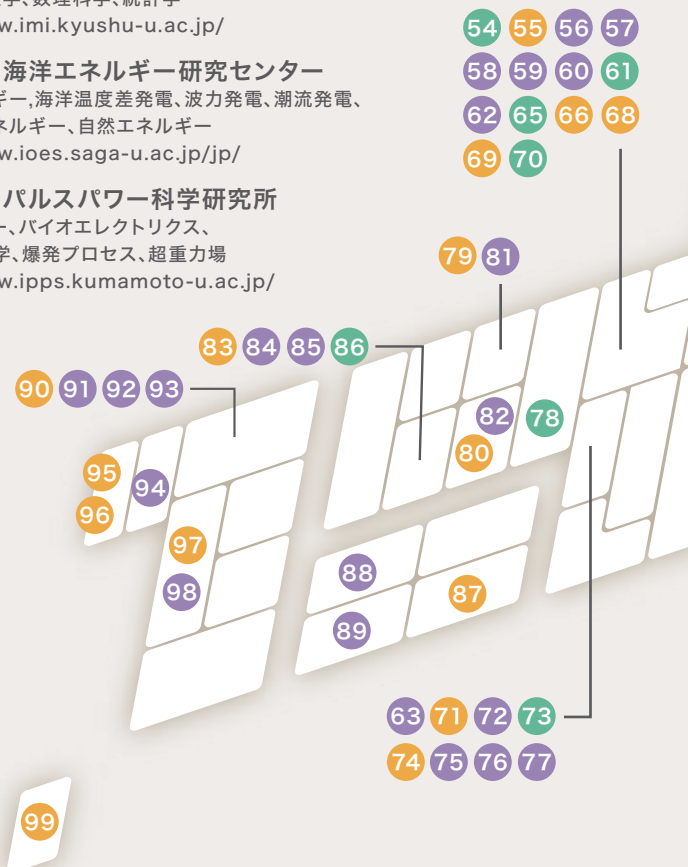
91 九州大学 応用力学研究所 (○)
応用力学、核融合力学、新エネルギー力学、地球環境力学
<http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>

92 九州大学 先端物質化学研究所 (○)
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、
炭素材料、エネルギーデバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>

93 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所
産業数学、数学、数理科学、統計学
<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

94 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、
再生可能エネルギー、自然エネルギー
<http://www.ioes.saga-u.ac.jp/jp/>

98 熊本大学 バルスパワー科学研究所
バルスパワー、バイオエレクトロニクス、
極限物性科学、爆発プロセス、超重力場
<http://www.ipps.kumamoto-u.ac.jp/>



センター部会別一覧

Institutes and Centers of
all Universities

2

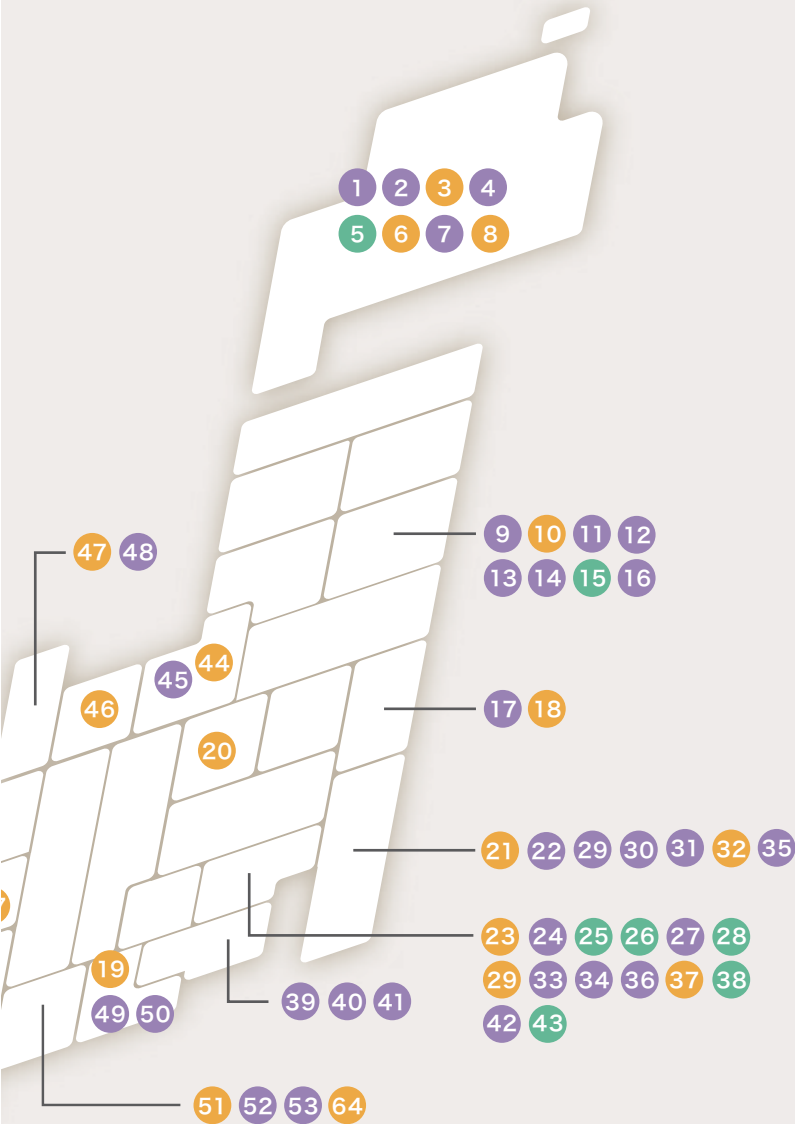
医学・生物学系
第2部会の研究所・研究センター
Medical and Biology

第2部会シンポジウム

平成30年11月9日(金)～10日(土)
担当機関: 筑波大学 つくば機能植物
イノベーション研究センター



平成30年度
第二部会長
金沢大学
がん進展制御研究所
平尾 敦 所長



3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)
感染症、免疫学、微生物病、腫瘍、炎症、基礎医学、生命科学
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/>

6 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター (○)
人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<http://www.czc.hokudai.ac.jp/>

8 帯広畜産大学 原虫病研究センター (○)
原虫病、ベクター、OIEコラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<http://www.obihiro.ac.jp/~protozoa/index.html>

10 東北大学 加齢医学研究所 (○)
加齢制御、腫瘍制御、脳科学、スマート・エイジング、医療機器開発
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>

18 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター (○)
遺伝資源、遺伝子組換え植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>

19 筑波大学 下田臨海実験センター
海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、
海洋生態、海洋環境、海洋酸性化
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>

20 群馬大学 生体調節研究所 (○)
内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<http://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>

21 千葉大学 真菌医学研究センター (○)
病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp>

23 東京大学 医科学研究所 (○)
医科学研究、感染症、免疫学、がん研究、ヒトゲノム解析、疾患システム研究、
再生医療、プレジジョン・メディシン、遺伝子・細胞治療、
トランスレーショナル・リサーチ、医療ビッグデータ解析、AI支援医療
<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>

29 東京大学 定量生命科学研究所
構造生物学、ゲノム科学、脳科学、データ再現性
<http://www.iam.u-tokyo.ac.jp/>

32 東京大学 大気海洋研究所 (○)
海洋、大気、地球科学、気候変動、海洋生物資源、地球生命圏
<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>

37 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (○)
難治疾患、基礎生物学、ゲノム応用医学、難治病態、先端分子医学
<http://www.tmd.ac.jp/mri/>

44 新潟大学 脳研究所 (○)
基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、
統合脳機能、神経病理学、ヒト脳科学、システム脳病態学
<http://www.bri.niigata-u.ac.jp/>

46 富山大学 和漢医薬学総合研究所
漢方医学、伝統医学、複合薬剤、天然薬物、病態薬効解析、
生薬成分分析、データベース
<http://www.inm.u-toyama.ac.jp/index-j.html>

47 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)
がん転移、薬剤耐性、微小環境、幹細胞、分子標的
<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>

51 名古屋大学 環境医学研究所
次世代創薬、ストレス受容・応答、生体適応・防御、
新規治療法・予防法、心血管・脳神経系、内分泌・代謝、ゲノム制御
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>

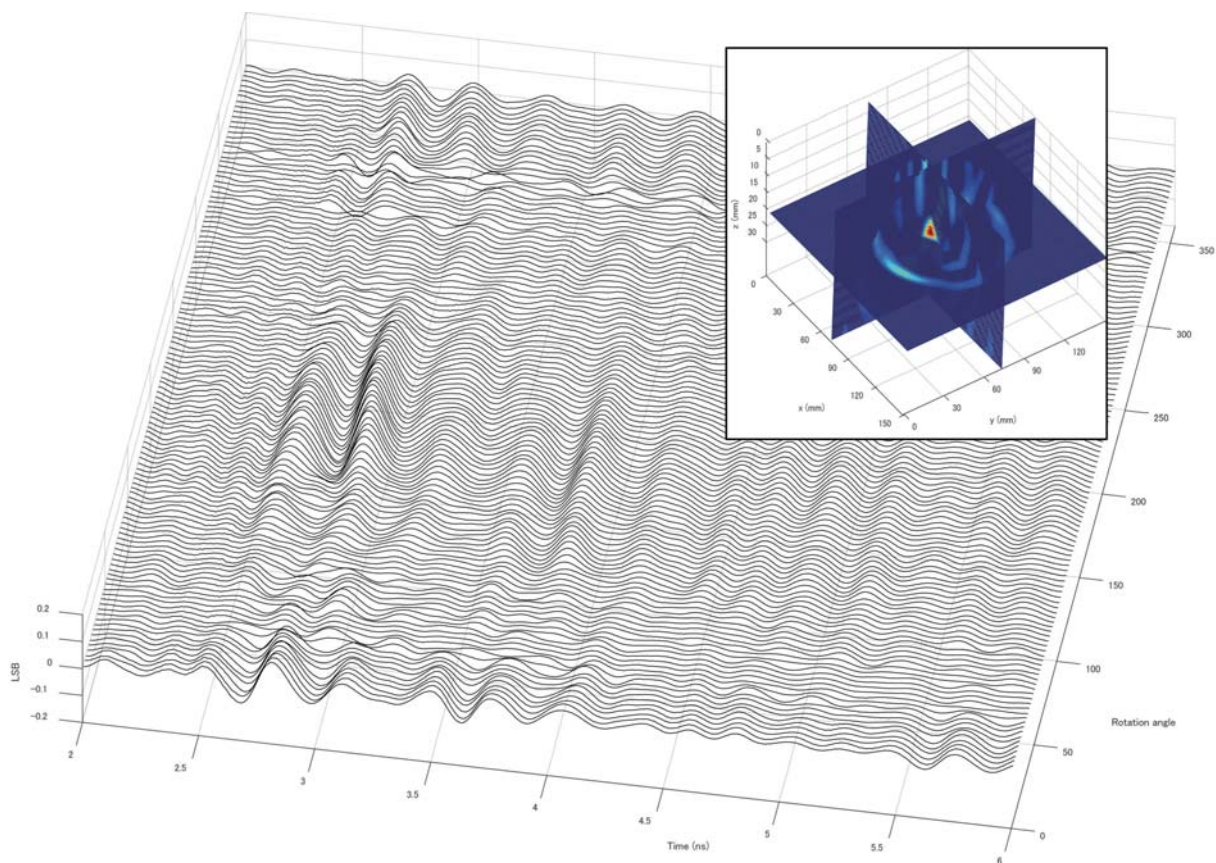
55 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 (○)
ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学、再生生物学、
幹細胞、医工学、再生医療
<http://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>

64 京都大学 霊長類研究所 (○)
霊長類の総合研究、人間の進化、学際的研究、国際化
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>



平成30年度
第三部会長
広島大学
高等教育研究開発センター
山本 陽介 センター長

- 66 京都大学 iPS細胞研究所
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>
- 67 京都大学 生態学研究センター (○)
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<http://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 68 京都大学 放射線生物研究センター (○)
放射線生物影響、DNA損傷修復、
細胞周期チェックポイント、クロマチンダイナミクス
<http://www.rbc.kyoto-u.ac.jp/>
- 69 京都大学 野生動物研究センター (○)
野生動物、フィールドワーク、動物園・水族館、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 大阪大学 微生物病研究所 (○)
感染症、病原体、免疫、生体防御、
基礎生物学、がん、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 74 大阪大学 蛋白質研究所 (○)
蛋白質科学、ライフサイエンス、構造・機能生物学、
プロテインデータバンク
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 79 鳥取大学 乾燥地研究センター (○)
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/index.html>
- 80 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)
植物遺伝資源、植物ストレス、分子育種
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/index-j.html>
- 83 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線、
ゲノム科学、ゲノム損傷、DNA損傷応答、再生医学
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm>
- 87 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)
基礎医学、分子生物学、免疫学、酵素、ゲノム、プロテオーム、
糖尿病、オープンイノベーション
<http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>
- 90 九州大学 生体防御医学研究所 (○)
多階層生体防御システム、感染ネットワーク、トランスオミクス、
免疫学、がん生物学、発生再生医学
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/>
- 95 長崎大学 熱帯医学研究所 (○)
熱帯医学、熱帯公衆衛生学、国際保健、災害医療、
ベトナム・ケニア拠点、熱帯医学ミュージアム
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/>
- 96 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 97 熊本大学 発生医学研究所 (○)
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 99 琉球大学 熱帯生物圏研究センター (○)
亜熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、
共生、遺伝資源、感染症
<http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、
中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 15 東北大学 東北アジア研究センター
東北アジア地域研究、文理連携、自然史、歴史文化、国際関係、
環境資源、応用・社会連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 25 東京大学 東洋文化研究所
東洋文化、アジア学、アジア研究図書館、国際総合日本学
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 26 東京大学 社会科学研究所 (○)
社会科学の学際研究、現代日本社会研究、
全所的プロジェクト、社会調査・データアーカイブ
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 28 東京大学 史料編纂所 (○)
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 38 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)
言語ダイナミクス科学、中東・イスラーム圏、アフリカ、人類学
<http://www.aa.tufs.ac.jp/>
- 43 一橋大学 経済研究所 (○)
経済制度、公的統計マイクロデータ、高度実証分析拠点、
世代間問題、長期経済統計
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/>
- 54 京都大学 人文科学研究所 (○)
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、
中国学、東洋学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 61 京都大学 経済研究所 (○)
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/index.html>
- 65 京都大学 東南アジア地域研究研究所 (○)
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、フィールド・サイエンス、
相関型地域研究、地域情報学
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp>
- 70 京都大学 こころの未来研究センター
こころの学際研究、心理学、脳科学、人文社会科学、
基礎研究と社会連携
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>
- 73 大阪大学 社会経済研究所 (○)
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<http://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 78 神戸大学 経済経営研究所
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融、計算社会科学
<http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 86 広島大学 高等教育研究開発センター
高等教育研究、大学改革、大学の管理と経営、高等教育政策財政研究、
大学教授職研究
<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>



表紙画像：電子顕微鏡写真にみる高分解能化の歴史

1972年に世界で初めて有機分子像が観察されて以降、超高圧電顕の開発により、1978年には500 kV、1991年には1000 kVの電顕で、塩素化したフタロシアニン銅薄膜の分子内の重原子が可視化された。さらに、電子レンズの球面収差を補正することにより、2012年にはそれまで困難であった分子内の炭素原子の可視化にも成功した。(京都大学 化学研究所 複合ナノ解析化学)

裏表紙画像：乳腺腫瘍検出

乳腺腫瘍検出マイクロ波インパルスレーダーが複素誘電率の異なる乳房組織界面からのエコーをとらえた様子。挿入図は複数のアンテナの受信波形を合成して得られる三次元共焦点画像。(広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所)

「国立大学附置研究所・センター会議」は、 全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して 日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

30の国立大学の99の研究所・研究センターから構成されます。

所属教員数は3,400名を超えます。

理工系中心の第1部会(52研究所・センター)、
医学・生物系中心の第2部会(33研究所・センター)、
人文・社会系中心の第3部会(14研究所・センター)からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催



国立大学附置研究所・センター会議

●お問い合わせ

京都大学経済研究所

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 TEL 075-753-7102 FAX 075-753-7193

<http://www.shochou-kaigi.org/>

